

# ここがポイント! そこが聞きたい!!



## 一般質問

はにぼん  
TENANT

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では15名の議員が質問を行いましたので、主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録(2月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は議会事務局、児玉総合支所、はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



本庄駅北口まちなか再生とコンパクトシティのビジョンは  
市議団大地代表 内田 英亮

### 問

まちなか再生とコンパクトシティは目指す

ものが異なるが、現在北口ありきの議論になっている。コンパクトシティ構築を実現させるためには市のどこが最適かビジョンをもって考え、今から取組を進めるべきと思うがどうか。9割の通勤通学者が駅を使わず、マイカー移動でまちなかに人が滞在せず歩かない特徴がある本市で、歩道の整備や店の増加でまちなか再生ができるビジョンか。

### 答

本市では、本庄駅周辺や児玉駅周辺の古く

からの中心市街地、いわゆる「まちなか」の人口減少や高齢化が進んでおり、まちなかに人を呼び戻し都市本来の機能を再生するまちなか再生に取り組んでいます。まちなか再生を実現するため、国のコンパクトシティ推進のための制度を活用し国の支援を受けながら取り組んでいます。まちなか再生とコンパクトシ



車と歩行者が共存する昭和53年銀座通り

### 【その他の質問】

・本庄市消防団・合同での特別点検・消防操法をめぐって  
(都市計画課)

イ構築のビジョンとしては、長期的には本庄駅・児玉駅周辺のまちなか再生の効果と本庄早稲田駅周辺のまちの進展により3つの駅周辺に拠点市街地が構築され、多くの市民が利便性の高い快適な都市生活を送れることとしています。本庄駅北口周辺整備基本計画では、賑わい創出を目指す駅前街区整備と歩いて暮らせる空間形成を目指す道路整備により、まちなかが抱える課題の解決に取り組んでいます。今後持続可能な都市づくりのため市民の皆さまの意見を取り入れ、国の制度を活用し取り組んでいきます。

本庄市立小学校の適正規模及び適正配置の考え方について  
自由民主党 早野 清  
本庄クラブ代表

### 問

児童生徒が集団の中で切磋琢磨することを

通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、一定の集団規模が確保されていることが望ましいとして、12学級以上のスケールメリットを強調していますが、人数の多寡に本来は関係ないと思います。「生徒数」「学校規模」の大小によって成果が決められるものではないと思いますが、市としての見解をお伺いします。

### 答

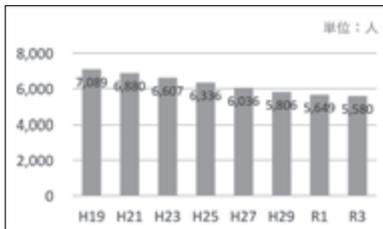
全国的に少子化が進み、小中学校の小規模

化が進行し、本市においても児童生徒数は減少が続いています。少子化がさらに進むことが予想される中、子どもたちにとって望ましい学習環境などについて検討するため、本庄市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方の案をまとめ、学校の適正化に取り組むこととなりました。子どもたちが学校生活

### 【その他の質問】

・雉岡城跡(城山公園)の環境整備について  
(学校教育課)

の中で、仲間と共に切磋琢磨し成長していくことは学校規模に関わらず重要なことです。一方、グループで話し合うには人数が少ないといったことなどが考えられ、一定の集団規模を確保することは子どもたちの教育のためにも必要です。こうしたことから、小学校では各学年でクラス替えができる規模、中学校では教科担任が学習指導できる規模の方が、より子どもたちが切磋琢磨できる環境であるとの結論に基づき、基本的な考え方の案を作成しています。子どもたちの将来を見据え、広く情報を提供しながら進めます。



本市の児童生徒数の推移

はにぼん号・もといずみ号の  
利便性について

公明党代表 栗田 弘志

**問** 高齢者の方などが安心して買い物や通院、また、交通不便地域の解消のためのデマンド交通の利便性について、予約の電話が中々繋がらないとの声を聞きますが受付業務の見直しについて伺います。また、運行時間の見直しについても伺います。そして児玉から本庄へ行くには途中で乗り換えなければなりません。不便だとの声を聞きますが、運行地域の相互乗り入れについて伺います。

**答** 令和4年度のデマンドバス利用者を対象とした満足度調査では、やや不満及び不満と回答した方が38.4%と高く、利用したい時間に予約が取れないこと、インターネットで予約ができないこと、予約センターに電話が繋がらない等、予約に関する内容が最も多い理由でした。不満要因解消のため、令和7年度にデマンドバスの運行形態の見直しを予定しており

現在、本庄市交通政策協議会で検討しています。

見直しに向け、予約方法についてはコールセンターの導入や、インターネットによる予約システムの併用を検討しています。また運行時間や運行日に関する不満も多く、運行時間の延長等についても検討する必要がありますと考えています。運行地域の相互乗り換えについては本庄地域と児玉地域の乗り継ぎポイントを増やすことや運行区域自体を見直すなど、利便性の向上に向け検討していきます。

今後も公共交通サービスさらなる充実を推進します。  
(都市計画課)

**【その他の質問】**  
・子育て世帯まるごと支援について  
・誰もが遊べる公園について



はにぼん号

本庄市のまちづくりのため、  
職員の視察研修について

市議員未来代表 小賀野 健司

**問** これからの自治体は、自らの創意と工夫によって個性豊かなまちづくりを進めなければならないと言われています。奈良県生駒市では、入庁3年目の若手職員が同市の課題、そして解決策等を調査研究し、その内容について発表会を実施しています。そこで本庄市として、まちづくり活性化のため、若手職員を視察研修に派遣することについて如何お考えか伺います。

**答** 本市では、「本庄市職員研修計画」に基づき研修を実施しています。新採用研修、採用1、2年目を対象とした特別研修、職員全員を対象とした研修などです。また、児玉郡市広域市町村圏組合や彩の国さいたま人づくり広域連合等で採用年数に応じた研修や専門研修等が実施されており、そこに職員を派遣しています。その他、国土交通省に1名、埼玉県に例年

3名程度の若手職員を派遣しています。

また、関連する本市の取組ですが、若手職員の自由な発想やアイデアを取り入れるため、現在、道の駅設置検討プロジェクト・チーム部会に9名、シティブロモーションワーカーグループに21名の若手職員が参加しています。こうした取組は、職員の貴重な体験になると考えています。今後も、研修内容の充実を図り、自らの創意と工夫によって個性豊かなまちづくりを進められる人材及び新たな発想ができる人材の育成に努めていきます。

(行政管理課)

**【その他の質問】**  
・職員の人事異動等について  
・市民の声を行政に反映させる事について



本庄市の  
公園管理状況について

市議員きせき代表 倉林 益代

**問** 公園の景観は文化レベルの象徴。雑草繁茂・花壇未整備・トイレの汚れ、地域の公園の現状を変えるべく、公園愛護会制度を充実させること。現在市が行っている「グリーンカーテンコンテスト」同様「フラワーパークコンテスト」など、市民の皆様にご協力いただき、「美しい花のまち本庄」を目指すこと。市の花をマリーゴールドに決め、種を市民の皆様提供を試みについて伺う。

**答** 公園愛護会は、現在35団体が43公園で活動し、一部の団体は清掃や花植え等を指定管理者の協力を得て実施しています。今後も地域の公園を見守る団体が増えることにより、自分たちのまちを自らきれいにしようという意識が醸成され、公園への愛着が深まっていくものと考えています。公園愛護会制度については、市のホームページで概要や活動中の団体、募



吉田林児童公園

**【その他の質問】**  
・道の駅構想の今後について  
・本庄市の部活動について

集について掲載し周知しています。今後もより多くの媒体へ情報掲載等を行い地域の公園づくりについてご理解をいただきたいと思います。市の花の制定については、市民の誰もが本市を代表するものとしてふさわしいと感じられることが大切であり、機運の高まりや合意形成が不可欠と考えています。今後も皆さまのご意見・ご提案を生かしながら検討していきます。また、指定管理者の話では、公園内で咲いた花から採取した種は、花のつきが悪い場合が多いとのことですので、市民の皆様への配付等については今後研究をしていきます。  
(都市計画課)

中山間地域における  
買い物不便地区の  
対策について

山口 豊 (自由民主党  
本庄クラブ)

**問** 高齢化の急速な進行に伴い、移動や買い物に対する支援の必要性がますます高まる状況の中、中山間地域での移動販売の必要性は高いとの認識から今後さらなる高齢社会での中山間地域等の買い物弱者の支援のための新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、中山間地域を週に1回以上販売コースにする本庄市移動販売事業の現状と今後について伺う。

**答** 高齢者等が、今後も安心な生活を送るための支援として移動販売支援事業が必要であるとの考えから、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、令和3年7月に本庄市移動販売支援事業補助金交付要綱を制定し、令和4年3月31日に移動販売が開業しました。令和5年9月に入り移動販売車が休んでいるとの情

報提供を受け、事業者を確認したところ、8月末から移動販売を休んでおり、現状では再開できるか分らず、移動販売を止めたいとの申し出がありました。このため、現時点では、中山間地域における移動販売事業は行っていない状況です。移動販売利用者の皆様にはご不便をおかけしていると、市としても認識しており、現在、他の事業者による移動販売事業の継続の可能性について協議を行っています。

今後さらに高齢化が進んでいく中で、移動販売だけでなく、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者施策を推進します。  
(高齢者福祉課)

**【その他の質問】**  
・野生鳥獣の保護及び管理について



地域の方が再開を望む移動販売車

上武連携構想による  
飛行場整備について

広瀬 伸一 (自由民主党  
本庄クラブ)

**問** 令和4年6月定例会で、飛行場整備の実現に向けて連携すべきと質問したところ、多角的に検討していきたいと答弁があった。本年11月22日に前橋市や本庄市など上武地域の10市町のトップが集まり上武連携構想勉強会が開催されたが、どのような議論がされたのか。災害に備えるという意味でも物資輸送ができる空港が必要と考える。将来を見据え議論を進めるべきだが市の考えは。

**答** 本構想は、生活圏・経済圏の結びつきの強い、群馬県前橋市周辺及び埼玉県北部の地域において、医療や経済分野などの連携を、より一層深めていこうとする取組です。その代表的なものとして、この地域への空港の設置の検討を掲げています。関係市町の首長が意見を交換する勉強会が発足し、その第1回目が令和4年11月14日に本市で開催され、交通、物

流、治水、医療連携といったテーマで協議を進めていくことを確認しました。本年11月22日に、ご質問の第2回目の勉強会が伊勢崎市で開催されました。勉強会の講師として国土交通省航空局航空ネットワーク部長をお招きし、ご講演及び意見交換を行いました。講師からは、旅客よりも物流としての空港の活用や、首都直下型の地震に備えるための内陸部の空港の存在意義は、十分に検討の余地があるとお話がありました。

今後も、この地域の発展に向けた連携手法の可能性について、関係自治体と情報共有しながら、研究していきます。  
(企画課)

**【その他の質問】**  
・本庄市営住宅の管理状況について



未来へはばたく上武連携構想

### 本庄市の商業振興に おけるまちなかの 活性化について

谷田 裕之(市議団大地)

**問** NEX T商店街プロジェクトの指定を受けようとした理由と経緯、この事業を行うなかで本市の役割。また「リノベ」「イベント」「まちゼミ」3部会の効果と評価。終了後の自走を目標としていたが現在の3部会の状況および各部会の現状をお聞かせください。本庄MEET&TALKについて、この事業はNEX T商店街プロジェクトと関連があるのか別なのか見解をお聞かせください。

**答** 本市は中心市街地の空洞化等の喫緊の課題があり、商店街の活性化のため市民が参加した新しい施策に取り組むことが必要でした。平成30年3月に県のNEX T商店街プロジェクト事業の公募に応募し採択されました。市は事務局として各部会を支え、伴走支援を行いました。リノベーション部会の活動により非賃貸物件が賃貸可能になり、人材発掘や育成に繋が

り対象エリアへの関心と新規出店が増えました。終了後部会としての役割を果たし自走はしていません。イベント部会ではほんじょうマルシェを開催。現在市内で行われている民間主催のマーケットの参考になったものと考えています。終了後ほんじょうマルシェ実行委員会としてイベント開催を企画運営しています。本庄まちゼミ実行委員会では本庄まちゼミを開催し、店主とお客さんとの交流が生まれお店のファン作りに貢献したと認識しています。終了後は本庄商工会議所を事務局とし、継続して活動しています。本庄MEET&TALKは、県事業を引き継いだ本庄NEX T商店街プロジェクトの活動の一つとなっております。(商工観光課)



リノベーション前(下)と後(上)

### マリーゴールドの丘公園の 整備について

梗田 平一郎(市議団きせき)

**問** 今年も1月28日までイルミネーションが点灯されています。土・日曜日の夜間など駐車場が満杯で駐車場から出るのを待って車を入れるため、大変危険です。駐車場の確保を早急に考えるべきです。寒い時期でもあり多くの家族連れの方達に温かい飲み物など提供できる場所の確保。キッチンカーなど食べ歩きの出る場所の確保。公園の案内板の設置を望みますが市の考えを伺います。

**答** 公園の駐車場は南側の丘下に2台、北東側の丘下に2台、東側の丘下に4台、合計46台の駐車が可能です。利用者が多く公園駐車場が満車となる時期には、臨時駐車場としてJA埼玉ひびきの本店駐車場を借用しています。イルミネーション点灯期間中は、混雑が予想される土日、祝日、年末年始休暇期間の午後5時から午後7時まで丘上

の公園駐車場入り口に警備員を配置し、臨時駐車場への誘導を行っています。駐車場の不足は引き続き公園利用者の利便性向上に向け検討します。公園内のキッチンカーの出店については、令和4年5月から開始した公共空間利活用実証実験の結果等を踏まえ、キッチンカーが出店しやすい環境や公園の賑い創出に繋がるような仕組み作りについて検討しているところです。また、誰もが行きやすい看板の設置も検討します。

引き続き、公園の魅力を高めて、愛される公園となるよう努めていきます。(都市計画課)

**【その他の質問】**  
・児玉工業団地内の道路整備について  
・本市の農業について



マリーゴールドの丘公園駐車場

### 有名アスリートからの 贈り物の活用について

山田 康博(市議団きせき)

**問** 「野球しようぜ」MLB大谷翔平選手から日本の全小学校にグローブ3個ずつの寄贈が3月までに行われるとの事。本市としても子ども達の憧れ・夢の象徴でもあり、言動や所作など人としての生きた教材としてその思いを教育の現場でどう活用していくか。単なる記念品ではなく、キャッチボールはもろろんの事、グローブを大切にすると飾るのでなく使う事を前提に市の対応を伺う。

**答** 大谷翔平選手による、全国の小学校等へのグローブの寄付の発表は全国的にも大きな話題となりました。寄贈グローブは、3月までに教育委員会に届く予定です。教育委員会としては、各学校に対しグローブを展示するのではなく、実際に子供に使用してもらうことを基本にしています。その際、学校の実情に応じた活用をしていくことを想定しています。また、各学校



**【その他の質問】**  
・開業140周年本庄駅の新たな価値の創造について

(学校教育課)

に対し、このグラブの活用方法について調査を行いました。一例として、全校朝会などで全校児童に大谷選手の思いとともにグラブを紹介し、その後、キャッチボールなどの体験を行い、最後はクラブ活動で活用を予定している学校があります。調査結果について、各校の活用方法を全小学校で共有したいと考えています。教育委員会としては、学校の実情に合わせて、子供たちが十分に触れ、体験して欲しいと考えています。各学校に対し今回の大谷選手の思いを十分理解し、子供たちのために積極的に活用するよう指導してまいります。

### 本庄早稲田駅周辺の まちづくりについて

清水 静子(公明党)

**問** 令和6年3月13日JR本庄早稲田駅開業20周年を迎える。駅周辺のまちづくりはこれでよいのか。ビッグモーターという車の会社の撤退はマイナスイメージだけでなく、まちの在り方を考えるチャンスと捉えたい。

**答** 区地区計画では、建築物の高さの最高限度等の制限を設けており、現在のままとりある街並みは、地区計画をはじめとする都市計画が機能しているものと考えています。地区計画の見直しについては、高さ制限を見直し、高層な建物を建築して定住人口等の増加を図るべき等の意見がある一方、高さ制限の撤廃によりマリーゴールドの丘公園

からの素晴らしい景観が失われることを懸念する声もあります。職員でも様々な意見があることから、庁内横断的な職員向けの勉強会を立ち上げ、市として今後の方向性を定めていきます。今後も研究・検討を重ね、地権者の皆さまや市民の皆さまからご意見を伺い検討してまいります。議員ご提案の複合施設、マンションなどの建設や誘致については、まずは土地利用等の現状を検証し、地権者の皆さまや市民の皆さまのご意見を等把握しながら先進事例を参考に調査研究してまいります。(都市計画課)

**【その他の質問】**

・学校図書館の役割と充実に  
ついて  
・重点支援地方交付金について



マリーゴールドの丘からの眺望

### 本庄市の小中学校における 学習端末の使用について

巴 高志(市議団きせき)

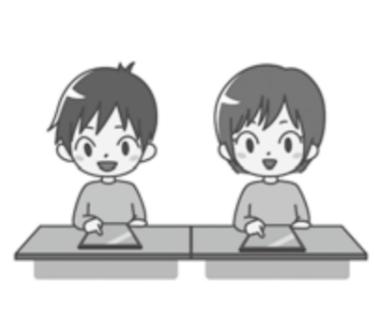
**問** 文科省からGIGAスクール構想が打ち出されて5年が経ちました。ここに来て地域によって授業での端末の使用頻度に差が出てくるというデータがあります。学習状況調査によると使用頻度が全国で最も高い県は4割弱、最も低い県は1割強でした。全国平均は、3割弱です。こうしたなかで、本庄市の公立学校での状況は、どのような状態になっているかお答え下さい。

**答** 授業中における学習端末の利用状況は、本年度の全国学力・学習状況調査によると、小学6年生では、「ほぼ毎日」活用が、全国で28・4%のところ、本市は32・7%、「週3回以上」活用が、全国で34・2%のところ、本市は39・9%と、共に全国を約5ポイントずつ上回っています。

次に、中学3年生では、「ほぼ毎日」活用が、全国で28・1%のところ、本市は12・9%

**【その他の質問】**  
・本庄市の水道事業について

(学校教育課)





ビッグモーター本庄早稲田店跡

(都市計画課)

しれませんが、情報収集に注力した上で、市として何ができるか考えていきます。高さ制限については、本庄早稲田駅周辺地区の発展のため高度利用できるよう高さ制限を緩和すべきとの意見がある一方で、本庄早稲田駅周辺地区の素晴らしい景観を大事にしてほしいという意見や、現在の景観に惚れ込んで住まわれている方々もおり、様々な意見が共存している現状があります。地区計画の見直しについては、まずは市職員による勉強会を立ち上げ、あらゆる角度から方向性を探っていく予定です。様々な角度から研鑽・研究を重ね、地権者や市民の皆様のご意見をいただきながら、慎重に検討していきます。

障害者施策の現状及び取り組みについて  
林 富司(市議団未来)

**問** 国内で障害のある方は約1160万人で福祉施設や病院等で生活をしていく方は約49万人とのことです。そこで本市の住宅等で生活している方は増加しているのか。また障害者が自由に活動できるバリアフリーの取り組み、障害者が地域で共に生活するための雇用の創出、最後に本市の進めている基幹相談支援センターの進捗状況と実施に向けての取り組みについて伺います。

**答** 地域で生活する障害のある人は、支援を受けずに日常生活が自立している人、施設等に入所している人など様々です。在宅で障害福祉サービスを利用する人は毎年大きく増加しています。市では、バリアフリー法等に基づき、道路や施設の整備に取り組んできました。市としてのバリアフリーの方針等はありませんでしたが、「本庄市移動等円滑化促進方針」

の本年度中の策定を目指しています。今後は移動支援の各施策の充実に努め、一層のバリアフリー化を推進します。本市では、障害のある人の就労を支援するために、児玉郡市共同で、児玉郡市障がい者就労支援センターを設置し、本人のニーズや適性に応じた就職支援や職場定着支援に加え、就労に伴う日常生活上の相談を行っています。

基幹相談支援センター設置について、児玉郡市共同で協議を行い、児玉郡市の相談支援体制を既存の3箇所の障害者生活支援センターに加え、基幹センターをその中核として設置し、それぞれの役割分担や機能を整理した上で、相談支援体制全体の強化を図る方針となりました。(障害福祉課)



中小企業の振興、特に住宅リフォーム助成制度について  
柿沼 綾子(無党派)

**問** まず、小規模事業者登録制度の限度額の拡充について考えを伺う。次に好評だった店舗リフォーム助成に続き、住宅リフォーム助成制度の創設については、今どんな段階にきているのか伺う。

**答** 小規模修繕契約希望者登録制度は、事業者の手続的な負担を考慮し、手続きを簡略化する代わりに少額で内容が軽易な契約に係る修繕を対象としているもので、現行制度の維持を考慮しており、限度額50万円を引き上げるのは、難しい状況です。住宅リフォーム助成制度の新設については、現在、本市では省エネ対策のための住宅改修に係る助成制度など

を設けています。市内事業者の利用を促進するため助成額を加算する措置などを講じて、市内産業の保護育成にも努めています。

本助成制度の新設について、これまでの答弁では個人の財産形成の支援に偏ってしまう可能性があるという点で難しいという説明をしてきました。一方、現在、中小企業の産業振興として、令和4年度に本市産業振興条例を施行し、本市産業振興計画の策定を進めています。住宅改修に係る支援制度が既にある中で、課題の整理をしながら、改めて市内産業の保護育成の面からも慎重に検討していきます。(財政課・商工観光課)



おもな案件②

◆本庄市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

地方税法第423条第3項の規定により、次の方を本庄市固定資産評価審査委員会委員として選任したため、議会の同意を求めるものです。  
阪上 賢司 氏  
鈴木 純 氏  
鈴木 すみ江 氏

◆本庄市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により、次の方を本庄市農業委員会委員として任命したため、議会の同意を求めるものです。  
内田新一氏 清水辰雄氏  
木村文子氏 永尾路子氏  
出牛 康氏 坂爪 裕氏  
中野和夫氏 鈴木誠次氏  
塩原圭一郎氏  
反町辰夫氏 田端講一氏  
宮部豊徳氏 鈴木良美氏  
細野俊文氏 戸谷忠司氏  
倉野内浩氏 金井清子氏  
金子順治氏 茂木良明氏

◆本庄市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、次の方を本庄市教育委員会委員として任命したため、議会の同意を求めるものです。  
清水 由紀夫 氏

◆令和5年度本庄市一般会計補正予算(第5号)

障害福祉サービス等の報酬改定に対応するためのシステム改修経費や4年ごとに行われる小学校教科書の改訂に伴い、教師用教科書及び指導書の購入など、歳入歳出それぞれ17億7682万9000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ330億465万5000円とするものです。

市民生活の向上

12月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介します。  
◆総務常任委員会  
○第99号議案  
令和5年度本庄市一般会計補正予算(第5号)  
マイクロバス運転者派遣手数料に係るマイクロバスがどのような業務に利用されているかなどについて質疑しました。付託議案3件について、すべて可決すべきものと決しました。



◆建設産業常任委員会  
○第72号議案  
本庄市営住宅管理条例の一部を改正する条例  
入居補欠者の入居順位の決め方などについて質疑しました。付託議案5件について、すべて可決すべきものと決しました。

本庄早稲田駅周辺地区地区計画について  
門倉 道雄(市議団未来)

**問** 本庄早稲田駅周辺地区地区計画内にあるビッグモーター本庄早稲田店跡は、株式会社ビッグアセット(BM)が100%を保有し不動産等の資産を管理している。本市の1等地を本市は何もできないのか。マリーゴールの丘から赤城山やその周辺の山々の眺望を確保する為、該当する地区では20mを超える建築物等は建てられない。計画変更はできないか伺う。

**答** 本市は、10月31日の店舗閉店後、11月16日に株式会社ビッグモーター東神奈川店を訪問し、店舗開発本部長と面会しました。その際、店舗跡地は本庄早稲田駅周辺地区の中心に位置していることから、今後の土地利用にご配慮いただきたい旨をお伝えし、今後の情報提供についてもお願いをしました。民間の土地であるため、直接関わることはできないかも

◆厚生文教常任委員会  
○第99号議案  
令和5年度本庄市一般会計補正予算(第5号)  
スポーツ・レクリエーション団体支援事業に係る奨励金の対象者などについて質疑しました。付託議案8件について、すべて可決すべきものと決しました。



◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会  
国道17号バイパス及び幹線道路の整備促進のため、埼玉県庁において県土整備部長への表敬訪問を行いました。

◆交通政策及び観光政策特別委員会  
籠原駅以北までの15両編成列車の延伸、八高線にサイクルトレインやSL等の臨時列車を運行することなど、JR東日本本社へ要望活動を行いました。